



教育目標 知を磨き 徳を高め 体をつくる

# 中野東中学校だより

令和6年12月25日(水)発行 第8号

## My Answer

副校長 磯 美智代

### ～3年生面接練習～

11月末から3年生は、校長・副校長との面接練習を行っています。面接練習は一人15分で、副校長との面接練習では、次の4つの質問をしました。

- ・志望理由
- ・中学校3年間であなた自身が一番得たこと
- ・高校卒業後の進路、将来について
- ・自己PR(1分程度)

面接練習で、中野東中3年生の素晴らしいところを発見しました。それは、「一人ひとりが自分の意見や考えを自分の言葉で話していること」です。また、入室から退室までの一連の立ち居振る舞いが、「部活動や学校生活の中で身に付けた礼儀作法ができていること」です。「失礼します。」「はい。」「ありがとうございました。」と自然と出てくる言葉も品格がありました。このようなことは、面接で急にできることではありません。

4つの質問では、特に、「自己PR」が印象的でした。堂々と落ち着いて、自分の経験から自分の強みとなることを熱く語ってくれました。とても頼もしかったです。15分という短い時間で、一人ひとりの中学校生活のこと、自身が経験したこと、考えていることを知ることができました。自信をもって本番の面接に臨んでもらいたいと思います。

### ～今、できなくても、焦らないで、慌てないで～

中野東中の生徒の皆さん、今やっている一つ一つのこと、うまくいっていること、そうでないこと、全てが自分を成長させる機会となり、未来へとつながっています。私自身が自分を励ます応援歌としている曲を紹介します。3年生が生まれた2009年のアニメの主題歌で、「My Answer」という曲です。歌詞に、「今、できなくても、焦らないで、慌てないで、君のマイペース自分信じてゆっくり行けばいい」とあります。皆さんには、今できないことがあっても、焦らず、慌てず、自分のペースで一步一步進んでいってほしいと思います。

### ～保護者の皆様、地域の皆様～

早いもので、本日は12月25日終業日で、今年もあと7日となりました。今年も保護者の皆様をはじめ、地域の皆様には、本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。来年も引き続き本校へのご支援を賜れますようよろしくお願い申し上げます。

よいお年を、そして新年をお迎えください。

## We are Global 中野・ウェリントン友好子ども交流2024④ 本校生徒に現地での様子をインタビュー

About Host Family

Host Student : Harvey Consedine

家族構成 : 父・母・祖母・猫・犬

家族の様子 : フレンドリーで明るく

本当の家族のように接してくれた。

家族の思い出 : ゴーカートやハイキング、ゴルフ等をした。夕食でいろいろな話をしたこと。



NZの印象 : 美しい自然に囲まれて穏やかな感じがした。

日本との違い : 自然がすぐそばにあり、ハイキングがすぐにできること。

オススメ : ラム肉とフィッシュアンドチップス。

現地校の様子 : 自由でフレンドリー。

NZから見た日本 : 和食やアニメ、侍や忍者の印象。

今後の夢 : これを機に様々な国に行きたい。

ホームステイの助言 : 偏見は捨てよう。相手は心を開いてくれます。



## 全国中学生人権作文コンテスト

2年 E 組の さんが書いた作文が「全国中学生人権作文コンテスト」で中野地区の代表作品に選ばれ、「東京都大会作文委員会賞」を受賞しました。全国中学生人権作文コンテストは、「日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうこと」を目的としています。 さんは自分の経験を基に考えをまとめて、すばらしい考察ができています。以下に内容をご紹介します。

### 【百歳が楽しみな社会】2年 E 組 さん

少子高齢化社会の今、高齢者に関わる事件や事故が多発しているのを感じます。つい先日には、息子が母親の介護中に殺してしまうという事件もありました。また、お年寄りを狙った詐欺の被害も多いです。このように、高齢者は今、社会で生きづらくなってきています。彼らが生き生きと豊かに過ごせる社会の実現に向けて私たちは何をすべきなのか考えてみました。

私は、実際にデイサービスセンターへ行き職場体験をしました。利用者の方とお話したり、食事を提供したり、歌と一緒に歌ったり楽しい時間を過ごせました。戦時中の貴重な体験談なども教えてくれました。戦時中の記憶がある人が少なくなっている中でこのような経験をもっている人がいることはとても重要だと思いました。また、その中で、この施設を利用している皆さんがとても元気に、健康に、自分らしくすごしていることに気づきました。しかし、その一方で、認知症の方がいて、もの忘れが激しかったり、急に怒り出したり、普段の生活をうまく過ごせないと訴えている方が多くみられました。

「家族に負担をかけたくない。」「百歳まで生きたいと思わない。」  
と言っている人もいました。今、高齢者の人権は無視されてしまっているのだと実感しました。

このような現状を目の当たりにしてみて、高齢者が自分らしく生きることができていない大きな原因は高齢者の方への尊重の気持ちが足りないことにあると感じました。尊重するというのは、相手の考え方や意見を無視したり、自分の考えを押しつけたりするのではなく、受けとめてあげることです。難しいことかもしれませんが、デイサービスセンターで働いている方たちは、それができていました。高齢者の行為や言葉を否定したり、叱ったりしている様子がありませんでした。「何回も聞いた。」「記憶違いだ。」というのではなく、「そうですね。素敵ですね。」などの言葉を投げかけて、利用者の方の気持ちをリラックスさせていました。もちろん、それが仕事だからというのかもしれませんが、理由を聞いてみたところ、

「高齢者の方が長生きしたいと思えるように私が彼らにとっての心地良い環境を作ってあげたいから。」と教えてくれました。私は、そこで初めて高齢者の人権を守るということを学びました。

これらのことを踏まえて高齢者が生きやすい社会にするためには社会はどう変わるべきかを考えました。まずは高齢者の方と触れ合う機会をつくることです。格差社会の中、若い人たちが高齢者の方と過ごす時間が少なくなっていて、そのため、高齢者の貴重さなどがわからないのだと考えました。話す機会やイベントを学校で実施したり、もしくは公民館などに行って自分から話したりする機会を増やすことが必要だと思います。

また、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることも必要だと思います。それは地域全体でサポートすることが望ましいです。悩みや不安を抱える高齢者の相談に乗り、適切なサービスを受けられるよう支援したり、関連機関との連携を取ったりできるシステムを活用して、高齢者にとって住みやすい地域にしていけることができます。地域のみんなで協力し合うことができれば、世代関係なく、誰もが安心して暮らせる社会の実現にも役立つと思います。

また、私ができることも考えてみました。一番は、私の祖父母を大切にすることです。一緒に暮らすことはできませんが、休日などの会える日にはちゃんと会って、話す時間をつくりたいです。ほかの高齢者との関わりでは、公民館に行って高齢者の方が主催のイベントなどに積極的に参加するようにします。

高齢者の人権を確立するには、年齢で決めつけるのではなく、一人一人の多様性を認め、全ての人が社会を構成する一員として尊重することが重要です。社会全体でこのような考えを常にもって高齢者の方と接していくべきであると思います。

## 鉢花ボランティア

12/14(土)に「鉢花ボランティア」を行いました。鉢花ボランティアは、地域の高齢者の方々に宛てたメッセージカードを書いたり、花を届けに行ったりする活動です。事前にたくさんの生徒が分担をして240枚のカードにメッセージを書きました。「地域のみなさまにいつも温かく見守っていただいていることに感謝しています」と心のこもったコメントを書いていました。絵や模様を描いたり、かわいいシールを貼ったり受け取った方に喜ばれるような工夫をしながらカードを完成させられました。

ボランティアの当日はメッセージカードと鉢植えの花を持って、高齢者の方々のいらっしゃる施設や個人宅に行きました。花を届けに行った生徒は49名もいました。3グループに分かれて、東部区民活動センター、弥生区民活動センター、東中野区民活動センターのいずれかに移動し、民生委員の方々と一緒に高齢者の方がいらっしゃる施設や個人宅に花とメッセージカードをお届けしました。

ボランティアに参加した生徒は、花を手渡すときに「いつもありがとうございます」「お体を大切にしてください」と伝えることができていました。高齢者施設を訪問した後に「直接花を渡せてよかった」と感想を口にする生徒もいました。

普段から中野東中の活動を暖かく見守ってくださっている地域の方々に感謝しています。お花を届けて感謝の気持ちを示すことができて良かったです。



メッセージカードをかきました

協力して花を選びました

直接花を渡せました

鉢植えの花を渡しました

## 1月行事予定

日	曜日	予定	日	曜日	予定
1	水	元日 冬季休業日	17	金	スキー教室(2)
2	木	冬季休業日	18	土	スキー教室(2)
3	金	冬季休業日	19	日	
4	土	冬季休業日	20	月	振替休日(2)
5	日	冬季休業日	21	火	避難訓練
6	月	冬季休業日	22	水	①～④救急救命(2ABC)
7	火	冬季休業日	23	木	①～④救急救命(2DE)
8	水	始業日 全校集会 安全指導日	24	金	中学校連合作品展 ～28日
9	木		25	土	
10	金		26	日	都立推薦入試
11	土		27	月	生徒会朝礼
12	日		28	火	
13	月	成人の日	29	水	
14	火		30	木	
15	水		31	金	⑤⑥文化芸術体験事業 国際交流教室
16	木	スキー教室(2)			